

女性部

女性部は、JAをよりどころとして食や農、くらしに関心のある女性が集まって活動する組織です。食と農を守る活動を軸に、食育や高齢者福祉、子育て支援やくらしの活動など、幅広く活動を展開しています。また、家の光記事活用グループや各支部のグループ活動も積極的に行っています。

女性部	花巻地域支部	13支部 1,502人
	北上地域支部	6支部 411人
	西和賀地域支部	6支部 141人
	とおのよつば地域支部	13支部 660人

※平成30年2月末現在

エコ活動

消費電力の削減に繋げるとともに、女性部の活動を広く一般の方々に理解してもらおうと実施。支部ごとに、支店などのJA施設で花や野菜などの「みどりのカーテン」を栽培し、夏の暑い日差しを遮っています。



支部活動

各支部では、特色ある活動を展開しています。地域住民を交えて行うなど、部員外を巻き込んだ活動は広がっています。



2

1



家の光クッキングフェスタ

JAや家の光協会とともに、隔年開催。女性部員のほか、組合員やその家族、地域住民などが参加してJA管内各地域の特産物を使った料理を楽しみ、地産地消への理解を深めています。



3

- 1 地域住民を会員に加え、「やってみよう」という活動を展開。地場産のモモでジャム作りを楽しむメンバー（花巻地域支部花巻支部「びじゅっぶす」）
- 2 寒さや雪を有効活用した加工技術で地域特産の「凍み大根」を作っている（西和賀地域支部加工研究グループ）
- 3 「えごま煎餅」を製造。JAバンクのCMにも取り上げられた（とおのよつば地域支部「じゅうねの会」）

青年部	花巻地域青年部	10支部 262人
	北上地域青年部	6支部 66人
	西和賀地域青年部	41人
	遠野地域青年部	7支部 105人

※平成30年2月末現在

青年部

青年部は、JAをよりどころとして地域農業の振興を図る農業青年の集まりです。農業の担い手として農業振興を図るとともに、農業を通じて環境・文化・教育の活動を行い、地域に根差した社会貢献に取り組んでいます。次代を開く青年の情熱と協同の力で、常に新しいJA運動を探求し実践しています。

学習会&ポリシーブックの作成



農業の発展に向けた議論や盟友相互の交流を目的に年1回、学習会を開いています。また、自分たちの政策を記載し、課題解決のための方針を明記するポリシーブックを作成。青年部の考えや想いを発信しています。

支部活動

各支部では、地域に根差した活動を展開。盟友それぞれが地域農業を支えています。



2

1

廃プラ回収

地域貢献と環境を守る活動の一環として、各地域で実施。使用済みの農業用プラスチックやビニールを回収して地域農業に貢献しているほか、地域住民や盟友相互の交流の場にもなっています。



3

- 1 農業のある地域づくりの大切さをアピールする活動として、支部ごとに「立て看板運動」に取り組み（写真は北上地域青年部）
- 2 いわて花巻空港そばの多目的広場の草を刈る盟友。地域貢献活動の一環として毎年実施している（花巻地域青年部宮野目支部）
- 3 農作物の出来秋や無病息災などを願いながら「花巻まつり」に参加する盟友たち（花巻地域青年部）



藤原 智子 部長
(花巻市太田)

嫁いできたことをきっかけに女性部へ加入。平成25年度から太田支部長を務め、平成27年度には花巻地域支部長に就任。平成29年度から女性部長を務める。

私 は女性部に加入し、講習会に参加したことがきっかけで「食の安全」に関心をもち、知識を深めることができました。女性部は、自分が知らなかった世界を知ることができるほか、人との繋がりを広められるのが大きな魅力。自分のやりたいことをみんなと共有しながら、JAをよりどころに生き生きと楽しく、地域との繋がりを深められるように活動を展開していきたいです。

J A職員には困ったときに相談できるほか、事務作業などさまざまな面で協力していただき助かっています。今後は、今以上に組合員組織との意思疎通を図りながら、共に歩みを進めていければと思います。

近 頃は、部員数の減少が課題になっています。5年後や10年後など長い目で見て部員数を増やしていくためにも、地域との繋がりを大切にしながら、生き生きと活動していくことが目標です。そうすれば、次第に活動に興味がある人、参加する人が出てくると思います。すぐに成果は出ないと思いますが、継続的に活動を展開していきます。また、農業まつりやふれあいプランなどに企画しながら、女性部の魅力や活動を発信していきたいです。



高橋 裕之 委員長
(西和賀町沢内)

就農後、誘われた事をきっかけに青年部へ加入。約10年前からJA西和賀青年部委員長、広域合併後は西和賀地域青年部委員長を歴任し、平成26年度から青年部委員長を務める。

広 域合併後、各地域の特性や活動を共有し、良い部分をお互いに吸収しようという盟友間の交流に力を入れてきました。年1回、全地域の盟友が1カ所に集い、研修やポリシーブックの作成を行う学習会の開催や農業まつりへの参画、県事業への参加などを通して交流と仲間づくりに励んできました。現在は新たにスポーツ交流を計画しており、これからも盟友間の交流に力を入れていきます。

ま た、沿岸部の支援活動も大切な活動の一つ。震災直後から草刈作業や盟友が栽培した農産物の販売などを定期的に行い、地域住民との交流を深めてきました。

青 年部への加入は人脈が増えるきっかけになり、人生の糧になっています。また、困った時には相談に乗ってくれる仲間がいて、とても心強いです。JAにはオリジナルのつなぎやポロシャツの製作に協力いただき、とても助かっています。行事の際にはJA職員に積極的に参加していただき、共に青年部の活動を活性化できればと思います。当青年部は県内一の盟友数を誇っており、これからも盟友間の交流を図りながら未加入の農業青年への加入を促し、更に青年部を盛り上げていきたいです。